新潟県農業者友好訪中団に参加して

月潟　田中善弥

このたび県主催の農業者友好訪中団に参加し十一月七日から十五日までの九日間、中国の上海市、無錫市、西京市を訪問して来ました。

新潟空港から出発し、上海空港に着き最初に感じた事は風影が全般的に赤味がかっている事に気付きました。又バスの中から見た町並みは、ほとんどがレンガ造りの家で地震でもあれば全て崩れてしまうのではないかと感じました。

道路においては非常に自転車が多く、車は夜になってもライトをつけずに走るのには驚きました。

街路樹にはプラタナスがきれいに並んでおりプラタナスを植えた理由は、太りが早く病害虫がつかず夏の暑い時には日陰になり休息の場所になる為だそうです。訪問した頃は落葉の時期でしたが町並みは清掃が行きとどいておりました。

人民公社を見学し、日本の農業との比較は農機具が非常に少なくすべて手作業で行なわれている事です。労働力、生産資材、資金、資源を合理的かつ有効に使って生産の能率を上げていると思います。

土地改良においても各公社が独自で行なっており、土壌改良にもカを入れ有機質肥料も一ム（約二〇〇坪）当り五〇〇〇kg〜七五〇〇kg（養魚池などの泥も含む）も使用しているそうです。

農業生産の向上に精力的に働き稲作二回、麦一回の三毛作を行なっており、土地と労働力を有効に使っております。

栽培技術の向上に対する意気込みも大変なもので、各人民公社には農業科学実験所や、ふ化場、養鶏施設、ハウス栽培については品種改良など盛んに行なわれておりました。又各公社との意見交換は勿論のこと、海外との技術の交流も行なわれていると聞きました。

農地のすべてが公社の所有と思っておりましたが、家族一人につき六〇平方メートルの自留地（個人の土地）が与えられ野菜等を作って食べ余った物は販売し生活費に充てるそうです。

社会生活における婦人の地位は高く男女平等が徹底されており、恋愛結婚が多く、仕事が出来、生活力のある人を選ぶとの事でした。

現在中国では農業、工業、科学技術、国防の四つの近代化が進められており、農業においては食糧を外国に依存しない為不屈の精神で農産物の増産に取り組んでいました。

現在の日本はあらゆる物を輸入しているが、いつ政治情勢の不安が来るかわかりません。今、日本農業の転換期で、農業施策や、これからの農業のあり方を考える時期ではないだろうか？

今月の献立

※ぎん鱈の酒むし（4人分）

材　料（4人分）

◎ぎん鱈……4切　◎人参…40g
◎玉ねぎ……80g　◎酒……大ヒ2½
◎しめじ茸…40g　◎塩……小ヒ1
◎大根葉（又はパセリ）……40g

作り方

① ぎん鱈の切身に塩をして身をしめ、酒をふりかける。
② ①の上に、玉ねぎの薄切り人参の薄いたんざくに切ったもの、しめじ茸、大根葉のゆでたものをみじん切りしのせて、蒸す。

注　アルミホイルに包むか、皿にのせて蒸し、熱いうちに食べる。

※大根のしのだ包み煮（4人分）

材　料

◎大　根……300g　◎だし汁…カップ2
◎油揚げ……4枚　◎しょう油‥大ヒ4
◎かんぴょう…1m位　◎砂　糖…大ヒ1½

作り方

① 油揚げは半分に切り熱湯にしばらくつけはがして袋にする。
② 大根は薄い千切りに軽く塩にもむか熱湯に通すかして、しなやかにする。
③ ①②を油揚げの中に詰めかんぴょうで結ぶ。袋はツマヨウジで穴をあけておくとよい。
④ ナベに材料をならべだし汁をひたひたに入れて火にかけ、10分位たつたら砂糖としょう油を入れて煮こむ。途中静かにハシで直す。
⑤ 残りの汁にカタクリ粉であんを作りかけて食べる。

注　具の中に、貝やブタ肉の細切りを入るとおいしい。

二月の保健衛生事業日程

日	曜	事業名	対象者及び会場
	日	講習会「成人病予防」について	2月1日〜一週間成人病予防週間です。他人ごとでない成人病予防対策ぜひ受講下さい。於　就業改善センター
7	土	育児学級 ◎該当者には個人通知しますが、当日は乳幼児の食事をお母さん（保育配当者）といっしょにつくりたいと思いますので希望者はおいで下さい。	健康相談と食事指導於就業改善センター
7	土	献血 ◎冬場「献血」対策です。人だすけと同時にいつ自身のためになるかわかりません。ご協力下さい。	一般住民　於　就業改善センター
13	金	予防接種（二種混合）	小学生六年生
25	水	乳児検診	S55・10〜S55・11生 S55・4〜S55・5生の者於月寿荘
27	金	予防接種 三種混合（一回目）	◎対象者には個人通知します。於　月寿荘

二月の公民館事業日程

日	曜	事業名	会場
8	日	村民スキー	須原スキー場
15	日	家庭教室	就業改善センター
20	金	高令者学級	月寿荘
22	日	婦人学級	就業改善センター

◎スポーツ少年団柔道　毎週火曜日　午後7時　西公民館
◎少年野球教室　毎週土曜日　午後1時30分　月潟小学校
◎早朝マラソン　毎週日曜日　午前7時　月潟中学校
◎あるけあるけ運動　毎週日曜日　午前7時　村内

第一回元旦マラソン！
81年こそ健康づくりのために　村民二六〇名が完走!!

81年こそ、健康づくりのために走ろう！歩こう！きたえよう！からだを！の呼びかけで第一回月潟村元旦マラソン大会が開催された。今年の元旦は朝からおだやかで、時折薄日がさす絶好のマラソン日よりに恵まれた。

十一時の受付を今やおそしと村民が役場に集合、ゼッケン付けて早やくもウォーミングアップに入る。十一時十五分開会式、主催者の村公民館長、続いて金子村長、鏡教育委員長から「体力づくりで明るい一年にしよう」とそれぞれあいさつがあった。そのあと星野与一郎選手の力強い選手宣誓があり元旦マラソンの幕が切られた。

正午前金子村長の号砲一発が新春の空に響き、Aコース一組二キロがスタート、保育園児や小学生がお父さんとお母さんと走るファミリーレースで一二五名参加、月潟の街中を通り大別当折り返しで、村民多数の声援を受ける。

続いてAコース二組二キロは一般参加で、村会議員をはじめ、かって若き青年時代のランナーズ六十名が完走、「苦しいがまだ走れる」と自信を示す。

いよいよ最後は西萱場折り返しを含め、月潟の街中全部を走る四キロコース、小学生高学年以上でいずれも日頃走っている健脚八十名が完走、余裕あるVサインをかかげて白いテープを切った。

このようにして、一人の落伍者もなく、保育園児から七十才迄の村民約二六〇名が完走し、元旦マラソンのすべてのレースは完了した。

参加者全員に、参加賞（醤油、学用品）、完走者には、生涯記念に残る完走証が授与された。午後一時二十分閉会式、金子村長、小湊分館長あいさつさらに中島審判長の講評と続き、全員完走の喜びと今年こそ健康で明るい村づくりにしようと呼びかけられた。

初の試みであったが、第一回の元旦マラソンは成功裡に終った。参加者全員の顔に、完走できた喜びと、自信がみなぎり、八一年の快いスタートが出来たのである。

そして、多くの参加者が「今年こそ健康づくりのために走ろう！歩こう！きたえよう！」という気持で元日の我が家へ帰られたであろう。

本大会は、公民館事業とは言うものの、交通安全協会、スポーツサークルをはじめ諸団体、そして陰の力としてご協力下された「みんなで走ろう会」など多くの皆さんのご援助があったことを忘れてはならないであろう。

「一年の計は元旦にあり」村民の皆さん、一人一人がからだをきたえて、明るい月潟村にしようではありませんか。

56年1月20から郵便料金が改正されます。

	現行	改正	
普通封筒	50円	60円	
ハガキ	20円	30円	
書留料	300円	350円	※
簡易書留	200円	250円	
速達料	150円	200円	注
一通の現金書留	10万円	20万円	
速達小包の重さ	4kg	6kg	
切手ハガキの矢損料	3円	5円	

※　ハガキは56.4.1から40円になります。

!!冬の感電事故にご注意を!!

◎電線に注意しましょう。
○雪おろしには十分気をつけて下さい。
○切れた電線には絶対にさわらないで下さい。

このような場合はすぐ近くの東北電力へお知らせ下さい。

東北電力白根営業所
TEL(0253)72〜3141(白根局)
東北電力六分出張所
TEL(025375) 2309(月潟局)

あきつ俳壇

○塩甘と云はれ鱒買ふ初時雨　和子
○カレー煮て窓の霰をみてゐたり　同人
○藁屋根のまだある峡の残り柿　としこ
○境内に写真屋もゐる菊日和　同人
○嫁く娘も母を手伝う千大根　草人
○大根干す軒下ずらり脚線美　富代
○縮まりて干菜の乾くガラス窓　妙子
○初時雨さんさ時雨と口づさむ　小灯
○風来れば吾を追い越し落葉行く　同人
○豪商家暗き明るさ夕時雨　永久
○降る落葉ネオン灯れば湯のけむり
○ふと目覚めし耳に棲む音小夜時雨　詩子
○尻丸の大根干さる寺の裏　喜美子
○くろぐろとつづく時雨の朽林　同人
○千歳飴鳩に寄られて泣きにけり　富代
○抽出しに古きお手玉一葉忌　妙子
○秋晴れの千曲悠々流れけり　金作
○軒毎に大根吊す冬仕度　同人
○細き影連れて老父が萱を刈る　里代子
○砂山のくぼみに残る初霰　同人
○野良の娘のうすき眉吹く雁渡し　永久
○トラックの荷台に上りくるみ腕　草人
○冬囲ふ早や旧道の煙草店　以知路
○霜枯へ水打つ雨の白さかな　昭月
○一村は日射しの中や片しぐれ　硯山
○手水鉢落葉を底に澄しけり　同人

（あきつ一月号より転載）